

令和7年8月18日

門川町議会議長 様

(8 番) 門川町議会議員 出口希俊



一般質問通告について

令和7年門川町議会第3回定例会において、下記のとおり質問いたしたいので会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

受 付	8 月 19 日	前 後	11 時 40 分	No. 4
--------	----------	--------	-----------	-------

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
門川町次期衛生センターについて	【1】 地籍調査、ボーリング調査、水準調査、手掘りにて行なった試掘調査、この予算が入札によって1700万の高額な予算を投じて実施されているが、結果が出ていない事について、以下のとおりお尋ねいたします。 ①現在のレーザー探査機では、地下4メートルに存在する釘一本も見逃さない制度を持っていますが、どのような調査方法だったのかお伺いいたします。 ②1700万円の調査費を予算計上したにもかかわらず、結果が出ていませんが、何のための調査費だったのかおたずねいたします。 【2】 前回の一般質問でも述べさせてもらいましたが、南海トラフ巨大地震の脅威が、非常に迫ってきています。10年以内に来る可能性は、非常に高いと毎年危険度が上がってます。そこでお伺いいたします。 ① 門川町には、高さ12mの巨大津波が押しよせるとの事ですが、今の建設場所は、海拔4m の浸水区域ですが、対策をお聞かせください。 ② 12m の大津波が発生した場合、衛生センター、小園水源地と五十鈴川流域にあります。当然甚大な被害が想定されますが、特に門川町全域の飲料水を賄っている小園水源地が、	町 長

衛生センターの汚水物で、汚染されることになりましたが対策はどう考えられていますか。

- ③ 想定外の災害が発生した場合、被害は、最小限に食い止めるのが 地方自治の役割だと考えますが、数年前とは、危険度が確実に上がっている中 南海トラフ巨大地震に対して、建設場所の見直し計画は、考えていないのかおうかがいします。